

おばま

市議会だより

No. 138



12月定例会の概要・・・・・・・・・・P2

北陸新幹線若狭ルート

早期実現に向けて・・・・・・・・・・P5

議会報告会・・・・・・・・・・P6

市政を問う！一般質問・・・・・・・・・・P8

■発行 小浜市議会
■編集 広報委員会
■発行日 平成26年1月24日

〒917-8585
福井県小浜市大手町6番3号
TEL 0770・53・1111(代表)
0770・64・6035(直通)
FAX 0770・52・0400
E-Mail gikai@city.obama.lg.jp

12月定例会の概要

平成25年第4回定例会は11月29日から12月19日までの21日間の会期で行われました。

今定例会では、各会計の補正予算案をはじめ、条例その他議案が提出され、慎重に審査しました。

また、定例会初日には、池田英之議員が、副議長職の辞職届を提出し、本会議で承認されました。その後に行われました副議長選挙で、三木尚議員が当選し、第54代副議長に就任しました。

請願

◆日本軍「慰安婦」問題の法的解決を急ぐことを求める意見書の提出を求める請願

(継続審査分)
賛成少数で不採択

主な陳情

◆新規制基準に基づく原発の再審査を行わないことを求める意見書の提出を求める陳情について

賛成少数で不採択

主な条例

◆小浜市職員の再任用に関する条例の制定について

賛成全員で可決

◆小浜市営駐車場設置および管理条例の一部改正について

賛成多数で可決

新副議長の紹介



第54代小浜市議会 副議長
三木 尚 議員
(59歳・下加斗)

提出を求める陳情について
賛成少数で不採択

賛成全員で可決

人事案件

◆フリーゲージトレイン(FGT)を導入せず、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択のための陳情

賛成少数で不採択

◆教育委員の任命について(辻 弘美氏)
賛成全員で同意

◆教育委員の任命について(川端 正氏)
賛成全員で同意

◆政府に米の需給と価格に責任をもつ米政策の確立を求める意見書提出についての陳情

継続審査

意見書

◆要支援者への予防給付(訪問介護・通所介護)(訪問介護・通所介護)

賛成多数で可決

◆人権擁護委員の推薦について(田村由美子氏)
賛成全員で同意

賛成全員で同意

平成25年第4回定例会採決結果

全員賛成で可決、同意した議案等

項目	件名
予算	平成25年度小浜市一般会計補正予算(第6号)
	平成25年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
	平成25年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第2号)
	平成25年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
	平成25年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第2号)
条例	小浜市職員の再任用に関する条例の制定について
	小浜市防災行政無線整備その2工事請負契約に関する変更契約の締結について
人事	教育委員会委員の任命について(辻弘美氏)
	教育委員会委員の任命について(川端正氏)
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(上田知栄子氏)
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(田村由美子氏)



【採決表示ボタン】

賛否が分かれた議案等

項目	件名	採決結果	藤田	西本	小澤	今井	能登	松崎	池田	下中	三木	垣本	藤田	風呂	富永	清水	池尾	宮崎	山本	賛成	反対
			靖人	清司	長純	伸治	恵子	圭一郎	英之	雅之	尚	正直	善平	繁昭	芳夫	正信	正彦	治宇藏	益弘		
条例	小浜市営駐車場設置および管理条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	15	1
	小浜市衛生管理所設置および管理条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	15	1
	小浜市廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	15	1
	小浜市農業集落排水処理施設の設置および管理に関する条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	15	1
	小浜市漁業集落排水処理施設の設置および管理に関する条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	15	1
	小浜市下水道条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	15	1
	小浜市水道事業給水条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	15	1
請願	日本軍「慰安婦」問題の法的解決を急ぐことを求める意見書の提出を求める請願	否	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	2	13	
	新規制基準に基づく原発の再審査を行わないことを求める意見書の提出を求める陳情	否	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	2	14	
陳情	「原発事故子ども・被災者支援法」基本方針案の見直し、基本方針の改定を求める意見書の提出を求める陳情	否	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	2	14	
	要支援者を介護予防給付から外すことに反対する意見書の提出についての陳情	全	欠	欠	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	0	
	子ども・子育て支援新制度をすべての幼い子どもの育ちを支える制度とするための意見書提出を求める陳情	否	×	欠	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	2	13	
	フリーゲージトレイン(FGT)を導入せず、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択のための陳情	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	1	15	
	TPP交渉からの撤退を求める意見書提出を求める陳情	否	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	2	14	
	要支援者への予防給付(訪問介護・通所介護)を介護給付として継続することについての意見書提出に関する陳情	全	欠	欠	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	0	
	要支援者への予防給付(訪問介護・通所介護)を介護給付として継続することについての意見書	全	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
池尾正彦議員は議長のため採決には加わっておりません。

【可決した平成25年度補正予算】

会計名	既決予算額	12月補正額	合計
一般会計	161億6,034万円	14億7,397万円	176億3,431万円
特別会計	88億7,232万円	1,102万円	88億8,334万円
企業会計	9億1,207万円	498万円	9億1,705万円

委員会審査

予算決算常任委員会（12月補正）

食のまちづくりNEX
Tステージプロジェクト
事業費525万円

【説明】食文化館を再整備するための設計委託料。

【問】活性化計画案についての全体計画については、本年度中にまとめるという考えだと思いが、今の進捗についてどのような調査をしたのか。

【答】小浜市の認知度や来訪者の旅行形態について調べるGAP調査や、携帯電話のGPS機能を利用して一定の範囲内で観光客がどういう移動をしているかの調査を行った。調査結果では、川崎地区での滞在時間は、4時間ぐらいとあまり長くないので、少しでも長く滞在してもらえようという取り組みをしていきた

【問】移転はいつごろで相談室を設置する場合、しっかりと個室を考えているのか。

【答】平成26年の早いうちには移転したいと考えている。しっかりと区切った中で、外からも見えないように、個室の相談室を考えてる。

健康管理センター運営管理経費
164万2000円

【説明】健康管理センター機能回復訓練室のほか改修工事で、現在庁内の地域包括支援センターを健康管理センターへ移設して、保健と介護予防事業を一体的に行っていく。

総務民生常任委員会

◆議案第60号 小浜市職員の再任用に関する条例の制定について

【説明】定年退職者等の

農林水産業関連災害復旧費等8億7301万9000円

【説明】今回は市内全体が激甚災害指定を受けるほど深刻、かつ広範囲に被害が及んでおり、ほぼ全て災害関係費用。

再任用に必要な事項を定める条例を制定する。
【問】再任用希望者は、見込みでどれくらいで、

給料はいくらか。
【答】定年退職者は4名でその方が対象者である。週31時間勤務で、月額17万円程度の給料。
◆議案第84号 小浜市防災行政無線整備その2工事請負契約に関する変更契約の締結について



【説明】国富地区、松永地区、遠敷地区における山沿いの地域で、電波が届きにくい地域があり気象状況により電波の不通が懸念されることから設置する屋外拡声子局のうち4局に再送信機器を増設するとともに、新たに再送信子局1局を増設する。
【問】増額分には電波の再調査の経費も含まれて

いるとのことで、最初の基本設計での調査が不十分ではなかったのか。
【答】基本設計は机上での調査であり、実際に機器の設置や個別受信機を配布し、受信状況について調査した結果、不具合が発生し増設となった。
◆請願第1号 日本軍「慰安婦」問題の法的解決を急ぐことを求める意見書の提出を求める請願
【意見】今の政府の対応で十分ではないかと思う。政府の対応に任せるということ、これを取り上げる必要はないと思

産業教育常任委員会

◆陳情第17号 TPP交渉からの撤退を求める意見書提出を求める陳情について
【意見】平成25年6月に当議会よりTPP参加に反対する内容の意見書を国に提出しており、整合性等を踏まえ取り扱うべき。

われる。
◆陳情第14号 要支援者を介護予防給付から外すことに反対の意見書提出についての陳情
◆陳情第18号 要支援者への予防給付（訪問介護・通所介護）を介護給付として継続することについての意見書提出に関する陳情
【意見】予防給付の90%占める訪問介護と通所介護サービスを市町村に委ねられると、小浜市の財政が厳しい中、サービスの低下が起り、他の市町村との格差も大きくなってくる。

【意見】現在、国の責任において情報を開示しないことを条件としてTPP交渉に参加し、中身について外交的な交渉中であり、現段階に至っては地方議会から交渉の撤退を求める旨の意見を申し上げる様な場面ではない。

北陸新幹線若狭ルート 早期実現に向けて

小浜市議会では、平成25年第2回定例会（6月）で、北陸新幹線若狭ルートの早期着工に向けた取り組み、および調査研究を行うことを目的に、「北陸新幹線若狭ルート早期実現特別委員会」を設置し、活動しています。平成24年6月に、敦賀駅までは着工認可されました。しかし、敦賀以西については、昭和48年に「小浜市付近を通る若狭ルート」が閣議決定されていますが、正式なルート、駅などは未発表であります。当議会は、整備方針の早期策定に向けて取り組んでいます。

意見書可決

小浜市議会では、平成25年第3回定例会（9月）において、「北陸新幹線若狭ルート早期整備に関する意見書」を賛成全員で可決しました。閣議決定された整備計画どおり、大阪までの全線整備方針を早期に策定し、フル規格による整備を求め、関係省庁に送付し、福井県、福井県議会にも要望しました。



小浜商工会議所との意見交換会
と き：平成25年8月28日
と ころ：小浜市役所庁舎内

市民と連携

若狭ルートの早期実現のためには、地元住民の協力、また沿線自治体との連携は不可欠だと考えています。そこで、平成25年8月28日に、地元経済を支える小浜商工会議所との意見交換会を開催しました。上野会頭、山岸副会頭、新谷副会頭をはじめ、同会議所内の交通開発委員の皆様に出席していただき、これまでの活動の成果や今後の地域住民

の活動の重要性など貴重なご意見をいただきました。また、11月14日に開催した京都府亀岡市議会との意見交換会では、互いの福井県、京都府の現状把握や若狭ルートの重要性などを再確認し、定期的な意見交換会の実施を約束しました。今後は、市内の各種団体や沿線自治体との意見交換会を通し、連携を深めていく予定です。若狭ルートは日本の国土軸を形成する上では、不可欠なルートです。小浜市議会では、早期実現に向けて、全力で取り組んでいきますので、市民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



県議会北陸新幹線整備促進議員連盟会長の山本文雄議員（右）に要望書を手渡す垣本委員長
【平成25年10月10日：県議会議事堂】



亀岡市議会との意見交換会
と き：平成25年11月14日
と ころ：亀岡市役所庁舎内（京都府）

北陸新幹線若狭ルート 早期実現特別委員会

- 委員長 垣本 正直
副委員長 能登 恵子
委員 池尾 正彦
富永 芳夫
下中 雅之
池田 英之
松崎 圭一郎
小澤 長純
藤田 靖人

議会報告会



11月2日に中名田、加斗、小浜地区の各公民館で議会報告会を開催しました。報告の内容は、「議会改革の取り組み」「9月定例会」「防災」の3つのテーマが中心で、その後、意見交換会を行いました。3会場で合計66人の市民の皆様にお越しいただき、貴重なご意見を数多くいただきました。(写真は加斗公民館)

議会報告会は必要なの？

本年度2回目の開催になる議会報告会。各会場の参加者は、

- 中名田公民館・・・12人
- 加斗公民館・・・21人
- 小浜公民館・・・33人

平成25年4月1日に施行した小浜市議会基本条例により年1回以上議会報告会を開催し、議会の説明責任を果たすとともに、市民の皆様からの意見を議会活動に反映させることになっていきます。

市民の皆様からいただいた意見をどう議会活動に反映させるかについては、議会報告会連絡会(議長、副議長、各常任委員長、広報委員長、報告会場の各班長で構成)において意見等の整理を行い、政策討論会などの議論や議会の政策立案、政策提言に生かします。



中名田公民館の議会報告会

どのような意見があったの？

●議員はもっと理事者に厳しく、また言い放しではだめだ。

●市民の意見を聞いた議員の声や選挙時のマニフェストは議会に反映されているのか。

●台風18号で、床下浸水の被害を受けたのですが、その後の台風接近に、対策として土嚢を市担当者に要望したら個人ではなく区長を通してほしいと言われた。被害後の報告や指導、対策が欲しかった。

●市からの災害避難対応の情報は、各地の事情を把握されていないのではないか。各地域ではどう対応したらいいのか。

●災害ボランティアについて、市外等の参加者が多く、地元の方が少なかったため、地元の方も参加できる体制も今後の課題である。



水害ボランティアの受付

●区長要望をしているが、要望に対する回答がない。

●芝居小屋の活用について活性化に繋がるのか疑問です。議員はどのような考えか。

●など数多くのご質問、ご意見をいただきました。

アンケート (59名が回答)

【本日の議会報告会】		【議会だより】	
評価する	52・5%	毎回見る	66・1%
評価しない	5・1%	ときどき見る	20・3%
どちらでもない	42・7%	あまり見ない	13・2%
無回答	15・3%	全く見ない	0・0%
		発行を知らない	0・0%

【自由記載欄】(一部抜粋)

◆4月から議会基本条例を施行し、議会としても市の提案について充分なる審議や意見を反映されるようお願いいたします。大いなる政策討論を行って提言などの手法により議会の使命を果たしていただきたい。

◆大変有意義であった。今後、テーマを絞って議論できればよい。

◆一般質問をされる議員が半数くらいと極端に少なくなっています。一般質問は議員にとって提案、提言をする大きな任務となっていて、ある意味義務でもあります。

◆住民が直接議会の報告を受ける貴重な機会なのに参加が少なくて残念でした。参加を促す工夫が必要だと思えます。また、住民も意識を持たないといけないと感じました。

◆文章を読み上げるだけの報告会だったと思います。議員の市会議員としての気持ち(熱意)が伝わってこない。これでは参加者は議員の言葉は右から左へと瞬時に流れてしまいます。



◆多くの住民が参加したくなる議会報告会になるように努力してください。

◆報告会ではなく、議会へ課題を取り上げ、夢のある意見交換の場にしてほしい。

◆安定ヨウ素剤の事前配布についてくわしくお話をしてほしい。この現状についても知りたい。

12月定例会で可決した意見書

要支援者への予防給付(訪問介護・通所介護)を介護給付として継続することについての意見書

要支援者を対象とした介護予防事業をしっかりと進めれば、介護が必要な高齢者の増加を抑制することができる。しかし、要支援者を保険給付から外すことにより、高齢者の重症化が進み、介護保険財政の圧迫につながる可能性が生じることになる。

よって、今後高齢者が増える中で、安心して介護給付が受けられるよう下記の事項について強く要望する。

記

1. 要支援者に対する給付を地域支援事業に移行せず、今までどおり介護予防給付で行うこと。

(一部抜粋)

委員等の変更

◆議会運営委員会

三木 尚 → 藤田 善平

◆議会運営委員会(副委員長)

三木 尚 → 富永 芳夫

◆原子力発電所安全対策

特別委員会(副委員長)

(欠員) → 三木 尚

◆公立小浜病院組合議員

(欠員) → 池尾 正彦

一般質問

【問】12月補正総額14億7000万円の内、9割の約13億円が台風18号による災害復旧であります。財政調整基金15億4000万円、松崎市政で貯金に力を注いだ基金も9月補正で3億円、12月補正で1億円、取り崩した。こつこつ時のために基金繰り入れは必要かつ重要であります。特に人件費の削減では10年ほど前には、総職員6000人余りの内、正規職員4000人余り、非正規職員2000人余りであったが、現在では総職員数は変わらず、正規職員3000人、非正規職員3000人となり人件費が約10億円削減された。一方社会保険費はその当時から比べると10億円増加した、地方交付税1兆

来年度予算特別枠「賑わい創出推進」!

【答】窓口業務など民間委託を検討する。消費税増税を踏まえて負担の公平化の観点から使用料、手数料を精査していく。大口ゴミ有料化、広域的ゴミ処理も検討している。市民体育館は福井団体に合わせて、平成27年に耐震補強施工する。「笑顔あふれるまちづくり」につながる予算編成を行い、舞若自動車道全線開通を大きなチャンスと捉えて、経済の活性化や交流人口の拡大につなげる「賑わい創出推進事業枠」に積極的に予算化する。

【問】地域防災計画において地域の拠点となる公民館の位置付け、職員の役割について。
【答】公民館の災害時の役割や機能について、生涯学習の教育機関として位置付けを考慮しながら検討する。
【問】原子力災害時に、県外避難計画は兵庫県に避難する。この計画は市民に対して十分な説明、検証を行うことが重要と考えるが。
【答】市民に説明会等により十分な理解をいただき、その中から出た意見、問題点を対策し改訂に生かしていく。
【問】少子高齢化人口減少時代を迎え、人口減少に歯止めをかける上において雇用の創出が重要である。1次産業の生産拡大、ブランドの向上策、工場の誘

安全・安心のまちづくりについて

致を計る上では工業団地の整備が必要。県の支援策がある中、市は整備をどう考えるか。
【答】備かる農漁業経営を支援、量的な生産拡大、質的に高付加価値化を積極的に図っていく。大規模園芸ハウスの整備を県と連携して積極的に推進していく。県の特別経済対策産業団地整備基金制度を使い、新たな団地の整備を進めたい。
【問】まちの駅、海の駅の活用、運営のあり方が重要であり、地域の活性化につながると思う。施設を造れば活性化するのはない。
【答】運営システム推進体制を検証、民間活力を最大限生かした持続可能なまちづくりに取り組む。
【問】病院の建物、医療機器は立派だが、医師不足により市民の期待に答えられていない。
【答】最大かつ緊急の課題。あらゆる機会を利用し、努力を続ける。

【問①】公共施設の今後の耐震化計画の対策について。
【答】市民体育館は国体開催に合わせ、平成26年度に実施設計、27年度に耐震化工事の予定。文化会館や公民館等の施設はその後、耐震性の低い施設から財政状況を勘案し取組む。
【問②】原子力災害を含めた防災拠点として、小浜市総合防災センターを整備する必要はあると思うがどうか。
【答】小浜市の防災センターは若狭消防署の若狭防災センターと兼ねているが、施設規模から災害時における防災センター設備は不十分であり災害時の拠点施設としては活用できない。近年の災害の甚大化や、災害種別の多様化等に対応する

公民館を地域のコミュニティセンターに検討中

【問③】避難所の非常用備品と人員配置の見直しが必要と思うが。
【答】この度の台風の対応を検証し、施設の避難者数に大きな差があった。備蓄物資や資器材の増強、人員の再配置などを検討する。
【問④】災害を教訓に職員体制や将来の公民館のあり方を伺う。
【答】将来、市長部局所管に切り替えも視野に防災拠点の役割を含め事業内容・運営管理・職員体制等、地域の拠点化を検討中です。
【問⑤】台風被害からの早期復旧対応を伺う。
【答】多くの土木業者が受注できる機会を与えるため指名選考基準や手持ち工事の制限を緩和する等、特別措置を講じていく。

市政を問う! 一般質問

12月定例会では9人の議員が10、11日に、市政各般にわたり一般質問を行いました。
※一般質問の原稿は発言議員自らが作成しています

ページ	氏名	質問項目
8	能登 恵子	・未婚ひとり親に寡婦控除を求める ・「介護マーク」の設置と普及
9	風呂 繁昭	・行・財政改革と経済対策について
9	清水 正信	・安全安心のまちづくりについて
9	垣本 正直	・安心して暮らせる街づくりについて ・小浜市の災害時における対応策について
10	宮崎 治宇蔵	・台風18号の被害の検証と防災・治水の抜本対策について ・米の生産調整見直しについて ・1月に美浜で開催される原発の図上訓練について
10	小澤 長純	・小学校の英語教育導入について ・原発事故の避難先、安定ヨウ素剤の配布・服用について ・木質バイオマスエネルギーの推進について
10	下中 雅之	・小浜市の認知症施策について
11	西本 清司	・小浜市地域防災計画について ・小浜市の産業振興について ・小浜市の職員体制について
11	松崎 圭一郎	・災害情報ネットワークの構築について ・拉致問題の行方について



風呂 繁昭
議員



清水 正信
議員



垣本 正直
議員



能登 恵子
議員

未婚ひとり親に寡婦控除を求める

【問①】近年、未婚ひとり親が死別未婚ひとり親より増加した。その生活状況は、死別・離別・未婚と貧困率が高い中でもより貧困ラインにいたる状況にも関わらず、寡婦(父)や母子家庭にある優遇措置がありません。憲法14条の「法の下に平等・・・」という理念から、「婚外子の相続差別は違憲」との判断もされる中、先進地では「みなし寡婦控除」が進められている。親の財政状況が、教育に影響を与える時代、貧困の連鎖を食い止めるためにも、子どもたちの将来のためにも、小浜市に、みなし寡婦控除を求める。
【答】寡婦控除には、経済的に苦しいひとり親世帯を救済する目的



介護マーク

があり、未婚の親の経済的事情も母子家庭と変わらないことから、保育料を始め、その他関係所管課において、「みなし適用」について早急に検討していく。
【問②】男性介護者が30歳以上になった現在、トイレの付き添いや下着の買い物などの外出時、偏見や誤解を受ける不都合な場面が増えることにより、その解消のため「介護マーク」が出来た。小浜市においても、介護に対する地域の理解や支援を頂くために、導入を進めてもらいたい。
【答】認知症のある家族を介護する中で、有効な手段と考える。周知と導入をしていきたい。

一般質問

【問①】市地域防災計画の災害の対策について、現在の状況、今後の方向性をどう考えるのか、特に原子力災害の対策では放射線管理資格者も必要と考えるが考え方を問う。

【答】災害防止のハード面は整備を進めている。ソフト面は各種ハザードマップ作成・警戒区域指定等で市民への周知を図ってきた。現在は防災行政無線整備や自主防災組織活動の支援補助制度・防災メール整備等実施している。放射線に関する資格者の採用について今後検討をしたい。

【問②】産業振興について、過去の状況から今後の課題や、進めべき方を問う。

【答】この20年間で農林水産業就業人口は58

このまちを次世代にどう引き継ぐのか！

【問③】市の職員体制について、現状と今後の方針、若手職員の抜擢等の考えを問う。

【答】現在、正規職員54名、非正規職員46名、約5億8000万円の人員費の削減効果があったが、現在の正規職員数が限界と考えられる。今後は施設統合、民営化業務委託等を進めたい。人事の登用は経験や年齢、実績を基に組織のバランスが必要であり、これらを評価し実施している。

【問④】市のネットワークを駆使して、多方面から多様な情報を得ている事は分かったが、これらの情報の殆どは、ローカル放送で得られる情報と似通ったものであり、果たして住民が避難する際の的確な情報として成り得るものなのか、例えば、台風の状況を刻々と伝達する定点観測カメラを増設する等の方策を講じる事は可能か？

【答】災害時のカメラ映像による現地状況の確認は、非常に有効であると考えが、防災関係機関が設置管理するカメラは、現在は五台しか無く、もし設置するにしても、プライバシーや利用目的の為にシステム作り等、実施するには課題が多く困難である。また、小浜市独自でカメラを設置するには、多額の費用を要し現段階では、整備する計画はない。

【問⑤】集会等への参加者減少への対策は？

【答】署名活動等を通じて、県民に拉致・特定失踪者問題に強い関心を持ち続けてもらうよう取り組んで行く。

台風等による緊急避難時の情報の的確化

【問①】台風等による緊急非難時に、タイムリーな情報を得る事は出来ないか？

【答】台風等の気象災害時の情報入手は、福井地方気象台から福井県を通じて防災ファックス、或いは、Jアラートにより、発表後、直ちに当市へ通報される。また、地域の情報は、市職員のパトロールは当然の事、小浜土木事務所、北川出張所、小浜警察署、若狭消防署などの防災関係機関と情報交換を行っている。

【問②】市のネットワークを駆使して、多方面から多様な情報を得ている事は分かったが、これらの情報の殆どは、ローカル放送で得られる情報と似通ったものであり、果たして住民が避難する際の的確な情報として成り得るものなのか、例えば、台風の状況を刻々と伝達する定点観測カメラを増設する等の方策を講じる事は可能か？

【答】災害時のカメラ映像による現地状況の確認は、非常に有効であると考えが、防災関係機関が設置管理するカメラは、現在は五台しか無く、もし設置するにしても、プライバシーや利用目的の為にシステム作り等、実施するには課題が多く困難である。また、小浜市独自でカメラを設置するには、多額の費用を要し現段階では、整備する計画はない。

【問③】集会等への参加者減少への対策は？

【答】署名活動等を通じて、県民に拉致・特定失踪者問題に強い関心を持ち続けてもらうよう取り組んで行く。



西本 清司 議員



松崎圭一郎 議員

議会を傍聴しませんか？

議会を傍聴する手続きは、5階の議会事務局で住所と氏名を書くだけです。

— 3月定例会の予定 —

- 2月21日(金) 本会議
- 2月24日(月) 本会議
- 3月10日(月) 一般質問
- 3月11日(火) 一般質問
- 3月24日(月) 本会議

今月の表紙 しめ縄づくり

12月18日、今富小学校の児童がしめ縄作りに挑戦しました。同地区の老人クラブの教えのもと、児童たちは悪戦苦闘しながら、わらを編んで正月用の飾りを作り上げました。



宮崎治宇蔵 議員

【問】江古川・北川・野木川・込田川の治水対策について。

【答】江古川の管理者である県では、国が実施している北川の河道掘削の効果などを踏まえながら、江古川の右岸堤防の高上げなどの対策を検討中である。

【問①】小学校英語の開始時期を、現在の5年生から3年生に前倒しし、5年生から正式の教科に格上げする方針が出されたが、高校卒業時には、ほとんどの子が英会話ができる、そんな小浜を目指してほしいが、教育長・市長の見解を問う。

【答】指導者不足・授業時間数等多くの課題があるが、本市は早い時期から取り組んでいる。次世代の子ども達が国際的な視野を持つことにより、まちの発展と交流の拡大に繋がることを期待している。

【問②】原発事故における安定ヨウ素剤の服用は、避難と同じくらい重要である。福島では多くの住民が服用できなかったが、事前配布等準備状況を問う。

【問③】林業が衰退し森林整備が進まない状況にあるが、市の間伐等への支援状況と木質バイオマスエネルギーの活用について問う。

【答】嶺南市町・森林組合で調整しながら計画的に実施されており、応分の補助を行っている。木質バイオマスは供給と需要の両面に課題があり、安易に活用が進む状況にはないが、未利用資源の活用等により、山村地域の活性化を進めていく。

【要望】本市が、今後取り組むべきエネルギーは何なのか、明確な姿勢を示して頂きたい。



【台風18号江古川流域冠水】

台風18号被害を検証し治水の抜本対策を！

【問①】1月22日に美浜原子力防災センターで開催される防災図上訓練について問う。

【答】約50機関120人が参加し、オフサイトセンター参加による住民退避対応訓練を実施する予定である。

【問②】大切なのは相談者の悩みなどに適切に対応できる体制づくりと思われ、具体的な取り組みを問う。

【答】来年度から実施する認知症検診において、1次検査は包括支援センターで行うが、2次検査の情報提供等については、医師会に協力をお願いし、医師からの所見をいただく予定としている。医師会とは十分な連携のもと、事業の推進を図っていく。

英語が話せる子どもを育てよう！

【問①】認知症患者の実態調査に対する市の考えと情報提供(正しい知識の普及啓発)について問う。

【答】来年度から実施する、定年認知症検診でのサンプル的な調査により、高齢者の認知症の実態がある程度把握できるものと考えている。情報提供については、現在、希望される地区の老人クラブや民生委員等に対して認知症サポーター養成講座を開催し、普及啓発に努めている。

【問③】認知症の人ができる限り住み慣れた自宅で暮らし続け、その家族も安心できるよう、標準的な認知症ケアパスの作成と普及を図るとされているが小浜市の取り組みに対する見解を問う。

【答】現在、小浜市ではまだ認知症ケアパスは作成していないが、市独自の認知症ケアパスの作成・普及が必要と考えている。

【問④】認知症の早期発見で大事になるのは、かかりつけ医の気づきや助言が重要と思われるが、医師会との連携について問う。

【問①】事前配布については、原発から半径5キロ圏内(PAZ)の泊・堅海地区を予定している。PAZ外は、事前配布はせず、緊急配備を基本とし、避難経路を配慮しながら、配布場所を検討していく。本年度末には、小浜市地域防災計画を改定する。

【問③】林業が衰退し森林整備が進まない状況にあるが、市の間伐等への支援状況と木質バイオマスエネルギーの活用について問う。

【答】嶺南市町・森林組合で調整しながら計画的に実施されており、応分の補助を行っている。木質バイオマスは供給と需要の両面に課題があり、安易に活用が進む状況にはないが、未利用資源の活用等により、山村地域の活性化を進めていく。

【要望】本市が、今後取り組むべきエネルギーは何なのか、明確な姿勢を示して頂きたい。

総合的な地域ケア体制づくりの推進を！

【問①】認知症患者の実態調査に対する市の考えと情報提供(正しい知識の普及啓発)について問う。

【答】来年度から実施する、定年認知症検診でのサンプル的な調査により、高齢者の認知症の実態がある程度把握できるものと考えている。情報提供については、現在、希望される地区の老人クラブや民生委員等に対して認知症サポーター養成講座を開催し、普及啓発に努めている。

【問③】認知症の人ができる限り住み慣れた自宅で暮らし続け、その家族も安心できるよう、標準的な認知症ケアパスの作成と普及を図るとされているが小浜市の取り組みに対する見解を問う。

【答】現在、小浜市ではまだ認知症ケアパスは作成していないが、市独自の認知症ケアパスの作成・普及が必要と考えている。

【問④】認知症の早期発見で大事になるのは、かかりつけ医の気づきや助言が重要と思われるが、医師会との連携について問う。



小澤 長純 議員



下中 雅之 議員

若狭高校ラグビー部のガンバリ！

～3年ぶり9回目の花園への挑戦～

若狭高校は第93回全国高校ラグビー大会に福井県代表として出場しました。大阪にある花園ラグビーグラウンドで行われ、3年ぶり9回目の挑戦でした。

「ここ数年でラグビーの実力が一番ある学年だ」と太鼓判を押す朽木雅文監督。監督の言葉通り、スターティングメンバー15人中12人の3年生が全員入るという3年生中心のチームでした。

平成25年12月28日に行われた初戦の相手は福島県代表の平工業高校。前半はリードで折り返したものの、12対14で惜しくも負けてしまいました。



多くの方々の応援、本当に感謝しています。
ありがとうございました。

【若狭高校ラグビー部一同】



【応援にも力が入ります】

3年生はこの大会を最後に部活動を引退しました。卒業後は大学へ進学する者、就職の内定が決まっている者と進路はさまざまですが、これからは地域社会で活躍してくれることを期待しています。

憧れの花園でプレイできたことは、最高の思い出となりました。これからは今の2年生を中心に、花園で勝てるチームになるよう冬場の厳しいトレーニングを頑張っていきます。

【新主将 川瀬 湧大(2年生)】



【広報委員会のメンバー】

(広報委員 風呂)

後になりましたが、新しい年が市民の皆様にとりまして、笑顔あふれる良き年であります様に御祈念申し上げます。

重責を感じました。

市民の皆様が安心安全で生活できる様、防災対策、議会改革(市政報告、意見交換会等々、強化しなければと編集を通じて

編集後記

12月補正予算14億7000万

円の内、9割に当たる13億円が災

害復旧予算であり、早期の復旧

に「備えあれば憂いなし」と痛

感しました。

議会事務局に直通電話ができました 0770・64・6035